

保護者等説明会アンケート結果について（速報版）

令和8年1月に実施した「尼崎市版地域クラブ活動保護者等説明会」では、参加された保護者・地域の皆さんを対象にアンケートを実施しました。

ここでは、アンケートの集計結果（説明内容の受け止め方）と、アンケートの自由記述欄で多く寄せられたご意見のうち、主な内容を抜粋し、市の考え方をQ&A形式でまとめたものです。

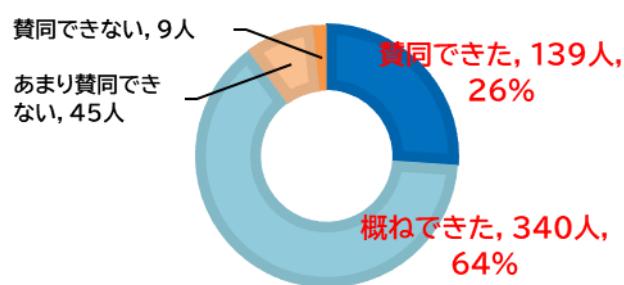
後日、すべてのご意見を掲載した「確定版」を公表予定です。

1 説明内容の受け止め方（項目ごとの未回答者は除く）

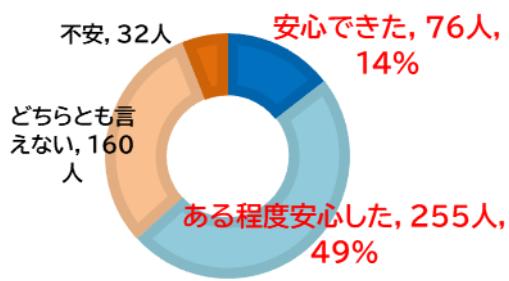
理解できたか(N=509)



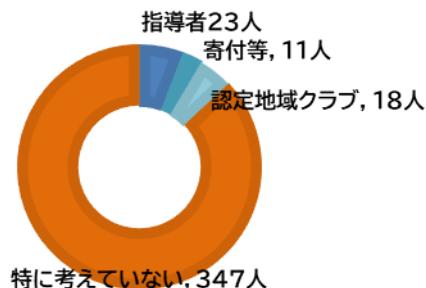
賛同できたか(N=533)



安心できたか(N=523)



地域クラブに関わりたいか(N=399)



<参考>

令和6年11月に実施した保護者説明会のアンケート結果と比較して、「よく理解できた・ある程度理解できた」と回答した方の割合は**8ポイント増加**し、「賛同できた・概ね賛同できた」と回答した方の割合は**19ポイント増加**、「安心できた・ある程度安心できた」と回答した方の割合は**5ポイント増加**しました。

2 主な意見と回答(速報版)

質問の種類と内容（数字は類似の質問件数）		回答要旨（市の基本的考え方）
①取組全体について		
地域クラブと習い事の違いは何か？地域クラブにメリットはあるのか。	6	地域クラブは、学校部活動の教育的意義を意識した活動を行うことや、非営利であることなどの要件に基づき、市が設置・認定します。これにより、透明性のある運営や信頼性などの指標になると考えています。
②アマカツクラブの活動内容について		
週3回では、技術力・体力・精神力の維持・向上、活動意欲・やりがいが十分に育つか疑問。	4	活動頻度は、子どもたちの意見も踏まえて設定しているものです。 指導者が専門的な指導を行いますので、部活動と比べて活動回数が少ないことが、ただちに不利になるとは考えておりません。ケガの抑制や、主体性の向上なども図られると考えています。
③アマカツクラブの充実について		
認定地域クラブ・アマカツクラブについて、設置場所や種目の偏りにより、地域によって選択肢に大きな差が生じているのではないかという不安がある	26	アマカツクラブは、各地区1クラブを基本とし、現在の部員数等に応じて数を調整しています。設置場所は、様々な事情に左右され、可能な限りバランスを意識していますが、全ての方に便利良く配置することは困難ですので、場所も含めて選択いただきたいと考えております。認定地域クラブは、多くの団体等から申請を得られるよう、取り組んでいきます。
④文化芸術、その他の活動について		
文化部の選択肢が少ない。文化的活動や行事も尊重しながら移行してほしい。取組の全体像を早期に示してほしい。	20	文化芸術、その他の活動についても、既存の部活動を中心に設置に向けて準備を進めており、早急にお示しできるよう、鋭意取り組んでいきます。また、認定地域クラブも今後増えていきますので、ホームページ等で適宜情報発信していきます。
⑤費用について		
経済的負担が心配。会費もだが、交通費や携帯代などもかかりそう。お金がかかるなら、通う子どもが減るのではないか。	14	クラブ運営には多額の経費が必要であり、本市では、できるだけ通いややすい会費で参加できるよう、公費を投入してアマカツクラブを運営します。 新たな負担となりますのが、部活動とは全く異なるものであるため、引き続きご理解をいただけるよう、丁寧に説明していきます。
⑥移動・安全面について		
活動時間が遅く、行きたいクラブが遠いと、安全などが心配。自転車の安全確保はどうするのか。送迎もできない。部活をする方が安心。結果的に選択肢も狭まる。	23	地域クラブは、部活動終了後も子どもたちの学びの機会を確保するための取組です。部活動とは運営の仕方が全く異なるため、同じ量の確保や、同じ時間帯に活動することは困難です。 会費や距離、大会などを総合的に勘案いただく中で、ある程度は子どもたちの選択に委ねる範囲を出ることをご理解ください。
自転車通学の導入や、送迎バス、バスの回数券、自転車に安全な道路整備を考えてほしい。	13	自転車通学は、通学・通勤時間帯の自転車数の急増が予想され、市民全体の安全にも関わることや、通学時の安全指導など、お金だけでは解決が難しい多くの課題があります。実現は非常に困難ですが、継続的に議論をしていきます。 また、送迎バスは、本市は交通網が発達した都市部にあり、持続可能性を踏まえると導入は困難と考えております。
⑦指導者について		
指導技術だけでなく、人間性や子どもとの関わり方を重視してほしい。どのような人材像を想定しているのか。	7	地域クラブ活動は、競技力の向上だけでなく、子どもたちの健やかな成長や学びの場であることが重要です。指導者や認定地域クラブには、様々な機会を通じて、継続的に研修や助言を行い、教育的視点を重視した活動が行われるよう、関わっていきます。
⑧活動開始までの居場所について		
授業終了から活動開始までの間、校内で宿題等ができる環境がほしい。放課後、安心して預けられる場所がなくなる。	3	地域クラブは、習いごとと同様、放課後の過ごし方の一つの選択肢です。 学校では、授業後は委員会などの用事がなければ校内に留まることはできません。校内で過ごす場を設けるかは、管理責任のあり方や、どのような過ごし方とするかなど、様々な視点を踏まえて検討していきます。
⑨学校活動への影響について		
地域クラブへの参加が、内申点に影響するのか。	7	国の『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』では、「学校部活動と地域クラブ活動で、高等学校入学者選抜における取扱いに差異が生じることのないよう十分に留意すること」「地域クラブに参加していないことで不利に取り扱うことは適切でない」と示されています。 兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱（例として、3月の一般入試）には、判定資料のうち、教科の学習の記録を点数化した資料、いわゆる内申点と、当日の学力検査の結果を同等に取り扱い、合否を判定する。その際、調査書情報に基づく学習の記録以外の諸記録は参考として用い、総合判定となるよう留意する、とされております。 この調査書情報に基づく学習の記録以外の諸記録には、部活動の記録も含まれますが、これらは公立高校の3月の一般入試において、あくまで「参考」として用いられるものです。 一方で、私立高校や、部活動の記録を特別に扱う公立高校については、各高校の募集要項等により定められており、地域クラブへの移行後においても、各学校が定める基準に基づいて取り扱われるものと予想されます。
⑩学校や教員の関わり方について		
学校はどの程度関与・連携してくれるのか	2	地域クラブ活動は学校外の活動となります。子どもに関わる取組であることから、学校と市、地域クラブが連携することが重要だと考えています。具体的な連携方法については現在検討しているところです。
⑪情報発信について		
説明会は今後も実施してほしい。子どもたちにも直接説明会を開いてほしい。	7	市としても、説明会は一度で終わらせるものではないと考えており、今後も、進捗状況や取組への理解を深めていただくため、説明機会の確保に努めています。